

13 令和7年度（統合校初年度）入学生の探究学習（3年間の流れ）

令和7年度（統合校初年度）入学生の探究学習（3年間の流れ）

学年	月	総合的な探究の時間 (文理探究科・普通科共通) 1単位	月	探究基礎(文理探究科のみ) 1単位	月	探究応用(文理探究科のみ) 2単位
1年	4	CST(コミュニケーションスキルトレーニング)	4		4	
	5	フボボイ選抜	5		5	
	6		6		6	
	7		7		7	
	8	農業選抜	8		8	
	9	三笠シオパーク選抜	9		9	
	10	課題探究(発表を含む)	10		10	
	11	〃	11		11	
	12	〃	12	※事前研修5コマ程度	12	
	1		1	探究研修旅行(台湾or東京)	1	
	2		2	28コマ ※事後研修2コマ程度	2	
	3	※35コマ	3	※3月:イベント企画 ※35コマ	3	
2年	4	外部講師講座、研修旅行報告会	4		4	データサイエンス → イベント企画
	5	グループ探究・ビジネススキル	5		5	〃
	6	※発表会	6		6	〃
	7	(9月下旬予定)	7		7	〃
	8		8		8	〃
	9		9		9	〃
	10		10		10	〃
	11		11		11	〃
	12		12		12	〃
	1		1		1	〃
	2	Critical Thinking	2		2	〃
	3	個人探究準備 ※35コマ	3		3	〃 卒業論文・制作(個人探究) ※20コマ
3年	4	個人探究				
	5	〃 ※進路に直結				
	6	〃 した課題探究				
	7	〃				
	8	〃				
	9	〃 ※発表会 ※30コマ				
	10					
	11					
	12					
	1					
	2					
	3					

文理探究科はこの枠で
卒業論文・制作(個人探究)

学 習 指 導 案

北海道岩見沢東高等学校 1 学年

日 時	令和5年4月11日(火) 5, 6校時	場 所	体育館
教 科	総合的な探究の時間	授業担当者	藤井清光 1 学年
単 元 名	コミュニケーションスキルトレーニング(前半)	対 象 者	1 学年 153 名
本 時 間	「あなたのことが知りたいの!」 インタビュービンゴ! (学年の仲間意識づくり)		
本時の目標	クラスの枠を越えた交流を図ることで、3年間ともに過ごす仲間としての意識を高める。 コミュニケーションの基本を学び、自分から働きかけて関係を築く力を身につける。		
段 階	学習内容	指導のねらい・学習活動	
		生徒の学習活動	教員の指導・支援
導 入 (5分)	本時のねらい	・CSTの目的を理解する ・本時のねらいを確認	CSTの目的を説明(藤井) 本時のねらいを説明
展 開 (20分)	あなたのことが 知りたいの! インタビュービ ンゴ!	・インタビューの基本を学ぶ ・インタビュービンゴのやり方を理解する。 ・ロールプレイを見る ・実際にインタビューしてみる インタビュー : 10分	・(岩田T) ①挨拶②自己紹介③聞く④質問する⑤サインをもらう⑥お礼を言う ・表に書いてある質問をする。 ・隣のクラスの人にインタビューする ・答えを書いたら、相手からサインをもらう。 ・たくさんの人にインタビューをし、ビンゴのように揃える。 5分 《デジタイマー》 ・教員によるロールプレイ 担任3名 ・たくさん質問した人にはいいことがある 5分 ・生徒の動きを観察し、動けない生徒がい たら声をかけ、補助する。 10分
	〈指導のねらい〉コミュニケーションの基本をもとに、自分から行動し質問をすることができる。		
ま と め (10分)	ふりかえりとま とめ	・どれぐらいの人と話せたか振り返る。 ・コミュニケーションをとることにより相手との距離が縮まることに気づく	・誰が一番多く話せたか、ビンゴの数が多かったのは誰か聞く。 ・話したことのない生徒と会話をすることで、場の空気が変わっていることに気づかせる。
	〈指導のねらい〉話して理解することで、ともに過ごす仲間としての意識を高める。(桑原T)		
自己評価		ワークシート記入・提出	感想の記入が難しい生徒は、翌日の提出でも可

学 習 指 導 案

北海道岩見沢東高等学校 1 学年

日 時	令和 6 年 4 月 9 日（火）5、6 校時	場 所	体育館
教 科	総合的な探究の時間	授業担当者	岩田 学 1 学年
単 元 名	コミュニケーションスキルトレーニング（後半）	対 象 者	1 学年 149 名
本 時 間	1 年 Z 組が住んでいるマンション（人間関係形成、自己・他者理解）		
本時の目標	- 自分が持っている情報を正確に伝え、正しく聴くことの重要性に気づく。 - 情報を集めてまとめるときに、協力の大切さについて学ぶ。		
段 階	学習内容	指導のねらい・学習活動	
		生徒の学習活動	教員の指導・支援
導 入 (15 分)	グループづくり Birthday Chain 説明	- Birthday Chain でグループをつくり、グループごとに整列する。（サイレントで） - 教師の説明を聞く。	- Birthday Chain のやり方の説明、指示（7 人 G に分かれて整列） 3 分 - 何も書かれていないマンションの図を掲示し、課題や約束を伝える。 ◎マンション図、顔写真、約束の掲示物
課題 「1 年 Z 組が住んでいるマンションがあります。どの部屋に、どのキャラが住んでいるのでしょうか。これから配るカードをもとに、みんなで話し合って、図にキャラクターの顔写真を並べてみましょう。」 約束 ①自分がもらったカードは人に見せない。 ②カードに書いてある内容は、グループの人に言葉で伝える。 ③グループの人に質問したり、意見を言ったりする方法は自由。 ④時間は 20 分間。10 分経過したらマンション図と顔写真を配布 ⑤カードは自分が担当するもの以外には触れないこと。			
展 開 (25 分)	トレーニング 終了、解答発表 振り返り	- グループのリーダーはステージ前に集合し、説明を聞く。他の生徒は体育館に分散して移動し、円になって待機する。 - リーダーはグループに戻り、他のメンバーに流れを説明する。 2 分 - リーダーは教員の合図で、情報カードとワークシートを配り話し合う。 - メモは取らない。 ④10 分-10 分	- リーダーにミッションカードを配り、説明する。 - 担当（岩田）はリーダーへ説明 3 分 - 他の教員：分散して円を作るよう促す - タイマーのセット、スタート - リーダーを集合させ、情報カードとワークシートを配布 （ミッションカード：メンバー キャラカード：リーダー の役割で） - 聞いた情報をそのまま文章で書かないよう必要に応じて声掛けする。＜巡回＞ - 代表 G 選出（全教員で） - 代表グループには事前に役割分担をさせる。
まとめ (5 分)	まとめ	自分たちの改善すべき点はどこにあるのか、振り返る。	- うまくいったグループをとりあげて、どうしてうまくいったのかを説明する。 - 振り返りシートはグループごとに回収する。

令和6年4月5日

Ⅰ学年 総探係

令和6年度 第Ⅰ学年「総合的な探究の時間」地域巡検Ⅰ 実施要領

- Ⅰ 目 的 「総合的な探究の時間」のねらいに基づき、北海道及び空知で活動している外部人材・外部機関等からの知見の提供を受ける。
 * 自己の在り方生き方と一体で不可分な、人と社会、自然との関わりにおいての課題を、生徒自らが発見し解決していく過程において、自主性、積極性、協働する力を育成する。
- 2 日 時 事前学習 4月18日(木) 6～7校時 本校体育館
 地域巡検 4月25日(木) 1～6校時 ウポボイ 民族共生象徴空間
 事後学習 5月 2日(木) 7校時 各HR教室
- 3 事前学習 1) 講師 合同会社 AYNU BASE 今氏 他1名
 2) 目的 地域巡検でウポボイを訪問するにあたり、事前学習として専門家に基礎知識などをレクチャーいただき、学習をより実りのあるものとする。
 3) 内容 民族舞踏体験・食について・ウポボイお勧めルート
 4) 講師料 50,000円(交通費込)
 ※三菱未来財団から20,000円
 5) その他 運動できる服装で参加
 撮影は可
- 4 地域巡検 1) 引率者 島影(Ⅰ学年主任)・梅川、泉、佐野、大沼(Ⅰ学年担任)
 2) 日程 8:20～ 8:30 バス内にて出欠確認、SHR(諸注意)
 8:30 本校出発
 10:00 ウポボイ到着
 ※2クラスずつに分かれて活動する
 14:00 バス集合、ウポボイ出発
 15:30 本校到着 バス内にてSHR、放課
 3) 持ち物 筆記用具、弁当、雨具(雨天時)、防寒具
 4) その他
 季節柄を考慮して、天候・野外見学に適した服装・靴を心掛ける
 現地で対応できない急病等が発生した場合は、保護者の送迎をお願いする
 バス費用は教員も含めた参加人数で等分負担する
 当日の欠席者は、参加者数に含め必要経費を等分負担する
 公欠・出席停止の欠席者は、参加者数に含めず、必要経費を負担しない
- 5 事後指導 1) 生徒は事前に配布されたワークシートを完成させておく。
 2) 4～5名のグループになり、互いにワークシートの内容を発表し合う。
 3) 発表内容に対して意見交換を行う。
 4) 各自のワークシート・話し合いをもとにレポートを作成し提出する。
 レポートの提出は5月9日(木)とする。

令和6年4月24日

総合的な探究の時間 地域巡検Ⅰ「ウボボイ」

時 間	内 容
8:20 ~ 8:30	バス集合・SHR
8:30	岩見沢東高校出発
10:00	ウボボイ到着

A B組		C D組	
10:15	体験交流ホール	10:10	博物館 ガイド
10:30 ~ 10:55	伝統芸能上演	10:15 ~ 10:35	はじめてのアイヌ博
11:00	クラス写真（チキサニ広場）	10:35 ~ 11:20	博物館展示室見学
	（昼食）	11:20 ~ 12:00	博物館以外の紹介
12:00	チキサニ広場集合 ガイド	12:00	クラス写真撮影（チキサニ広場）
12:00 ~ 12:45	博物館以外の紹介		（昼食）
12:45	博物館	13:00	チキサニ広場集合
12:45 ~ 13:05	はじめてのアイヌ博	13:15	体験交流ホール
13:05 ~ 13:50	博物館展示室見学	13:30 ~ 13:55	伝統芸能上演
14:00	バス集合	14:00	バス集合

14:05	ウボボイ出発
15:35	岩見沢東高校到着

○8:20までにバスに集合

欠席する場合は8:00までに連絡すること

○バスを降りるときは必要なものを持って降りること。筆記用具やレポート用紙、（弁当）などを忘れない。
（途中、バスに戻ることはできない）

○博物館以外の紹介～博物館展示室見学（博物館展示室見学～博物館以外の紹介）

7名のガイドさんの案内で回ります。

ガイドさんがつかない時はクラス単位で移動します。

○はじめてのアイヌ博と体験交流ホールは先生またはガイドさんの指示にしたがって速やかに座る。

○昼食は時間内にどこでも可。

レストラン等の座席で弁当を食べるのは不可。

※雨天時はバス内で昼食をとる。（昼食時にバスが降車した場所に来る）

昼食は弁当を持参すること。（レストラン等の利用は不可）

売店（博物館一階・エントランス棟）を利用したい場合は昼食の時間を利用すること。

○持ち物等

筆記用具（鉛筆がシャープペンシル）、バインダー類、レポート用紙、弁当、雨具（傘）、動きやすい靴

○注意事項

時間を守り、先生やガイドさんの話をよく聞き、指示に従うこと。

展示室内はボールペン等のインクペンの使用は不可。鉛筆がシャープペンシルを利用すること。

動画撮影、フラッシュ撮影は不可。

展示品やガラスには触らない。展示室では大声を出さない。



16 第1学年地域巡検「三笠ジオパーク」

令和6年10月3日

令和6年度 第1学年「総合的な探究の時間」地域巡検「三笠ジオパーク」実施要項

- 1 目的 「総合的な探究の時間」のねらいにもとづき、北海道および空知で活動している外部人材・外部機関等からの知見の提供を受ける。
*自己の在り方生き方と一体で不可分な、人と社会、自然との関わりにおいての課題を、生徒自らが発見し解決していく過程において、自主性、積極性、協働する力を育成する。
- 2 日時 令和6年10月10日(木) ※「総合的な探究の時間」7時間でカウント
- 3 場所 三笠市博物館、野外博物館、奔別炭鉱 等
- 4 講師 三笠市立博物館 学芸員 2名、ジオガイド 7名、補助員 1名 計10名
- 5 引率者 1学年担任及び学年主任
- 6 時 程

8:20～ 8:30	バス集合 出欠確認、SHR(諸注意)
	通常通り登校 早く登校した生徒は教室で過ごす
8:30～ 9:00	移動
9:00	三笠市立博物館、奔別炭鉱、各クラス毎に到着
13:40～14:10	見学終了後
	各クラスはそれぞれの見学箇所よりバスで学校へ移動
14:10～15:00	学校到着後、東階段より静かに教室へ移動
	振り返りシート記入
16:00～	SHR 放課
- 7 持ち物 筆記用具、ワークシート、バインダー、弁当、雨具(雨天時)
- 8 その他
 - (1) 当日の留意事項
 - ・野外散策に適した服装・靴を心がける。
 - ・昼食を持参する。食事は幾春別市民センター多目的室でとる。
 - ・雨天時は屋内を主とした別メニューになる(後日提示)が、バスから館内への移動時は外に出るので、必要であれば雨具(傘、レインジャケット等)を準備する。
 - ・救急セットを1セット持って行く(学年主任が携行する)。
 - ・現地で対応できない急病等が発生した場合は、保護者の迎車をお願いする。
 - (2) 費用について
 - ・バス費用は、教員も含めた参加人数で等分負担する。
 - ・当日の欠席者は、参加人数に含め必要経費を等分負担する。
 - ・公欠、出席停止等の欠席者は、参加人数に含めず、必要経費を負担しない。

令和6年度第1学年「総合的な探究の時間」地域巡検「三笠ジオパーク」事前研修実施要項

- 1 目 的 「総合的な探究の時間」のねらいにもとづき、北海道および空知で活動している外部
人材・外部機関等からの知見の提供を受ける。
＊自己の在り方生き方と一体で不可分な、人と社会、自然との関わりにおいての課題を、生徒自ら
が発見し解決していく過程において、自主性、積極性、協働する力を育成する。
- 2 日 時 令和6年10月3日（木）
13：25～14：15
- 3 場 所 本校体育館
- 4 講 師 三笠市役所 上口 壮太 様
- 5 内 容 13：25 生徒整列完了
13：25 講師紹介（島影）
14：15 生徒謝辞
- 6 準 備 プロジェクター・HDMI ケーブル・演台・マイク2本
※パソコンは持参します
- 7 その他 生徒は昼休みの間に体育館へ移動。
椅子とバインダー、筆記用具持参。



17 第2学年ポスターセッション

「GANTOゼミⅢ（発表）ポスターセッション」実施要領

令和6年9月24日

1. 目 的 ポスターセッションを通じて、研究の全体を把握し、構成力・表現力を身につける。

2. 期 日 令和6年9月26日（木）13:10～16:00

3. 会 場 岩見沢東高等学校体育館

4. 日 程

9月25日（水）昼休み「大地」の長机を体育館ステージ上へ

9月26日（木） ＊受付設置（職員玄関）学年団教員2名

12:45 各クラス探究係は前日に運んだ長机を配置する
体育館の割り当てられた場所にポスターを置く
発表に使用するものはすべて持ち込む

13:05 HRより体育館への移動開始

13:10 各グループ配置につく

来賓入場

開会式

13:20 開会宣言およびルール確認（藤井）

※ 各グループは発表者1名～2名を残し、移動する。発表者は毎回交代

※ 好きなグループに移動して良いが人数を確認しながら移動する

バインダー・メモ用紙を用意しあとでまとめられるようにする

13:30 発表開始（進行：藤井）

13:30～15:00 発表

発表8分（質疑応答含む）、移動・休憩2分の繰り返し（9回発表）

15:00～15:10 休憩

15:10～15:40 発表

※14:10～15:00（1年A～D組体育館へ）

発表8分（質疑応答含む）、移動・休憩2分の繰り返し（3回発表）

～15:30 10回目発表終了

15:40～閉会式

外部評価者や事業者からのコメント（可能な範囲で）

学年主任より

15:50～片付け 探究係、学年団教員

5. 実施学年 2年生（1年生は見学 14:10～15:00）

6. 来校者 外部評価者

（弘前大学 准教授 古村健太郎、学校評議員 栗林千奈美 北海道大学 山口晴敬）

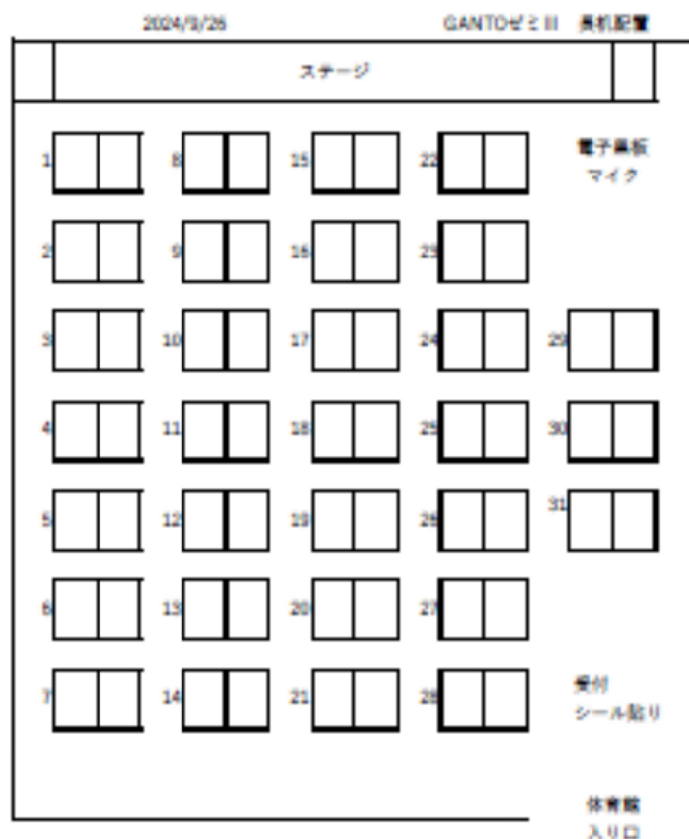
ご協力いただいた事業所の方々

7. 留意事項

- ・外部評価者の方には、ポスターセッションの評価・審査に参加していただき各グループに対し随時コメントを頂く ＊途中入場、退場可能です

8. その他

- ・良いと思ったポスター発表へ Good job シールを貼ったり、カラー付箋に意見や感想（これはすごい、こうしたらさらに良くなる等）を書いてポスターの横にある台紙に貼ったりする。これらは、3年生になったときの個人探究活動の参考になる。
- ・2 学年担当教員は担当生徒の評価をする。（別紙参照）
- ・外部評価者と校長先生、教員で多角的に協議してプレゼン代表グループを決定する。代表グループは研究内容を power point におこし、後日岩見沢市内高校で実施するプレゼンおよび北海道教育委員会主催の S-TEAM 教育推進事業 令和6年度「探究チャレンジ空知」に参加する。



2024 GANTOゼミ 研究テーマ一覧

班	研究テーマ
1	特産品を使った魅力的なグルメ
2	家族スイーツで岩見沢を笑顔に
3	【もったいない】からnew foodへ!!!
4	学力と朝食の関連性について
5	玉蘭が繭需要を増やして生産量1位を目指す
6	岩東レストラン&スイーツビューファエ
7	食材を広めて岩見沢を知ってもらおう
8	規格外野菜を使って食品ロスを減らそう
9	地域の食と地域学生の結びつき
10	地域野菜の「まずカラ」を目指して
11	天狗まんじゅうを北海道土産認定品にする
12	岩見沢をパン王国に
13	学校生活における給食の重要性
14	教員不足をどうするか。
15	小学生の運動能力向上について
16	学校のテーマパーク化
17	コミュニティ・スクールで生徒も職員も能力を最大限。発揮できる環境をつくる。
18	教員の負担を減らすためには
19	臓器移植と私たちの関わり方
20	中学生に運動を好きになってもらうために
21	単地域の住民がスポーツと関われる街〜人生120時代へ〜
22	生活習慣病に対抗する！そのために我々ができること
23	医師不足で廃院になる岩見沢を救う
24	子供が体を動かすことを通したコミュニケーション能力の向上と子供が体を動かすことのサポートを目指す
25	鉄道を観光資源へ
26	岩東跡地に究極の公園を作る
27	聖夜事変
28	岩東校舎を救え!!
29	岩見沢の税収を増やそう
30	北海道満喫ツアー
31	岩見沢への鹿校を使った経済効果



令和6年度 北海道岩見沢東高等学校 台湾探究研修 募集要項

1 趣 旨

- (1) スクールミッションでもある「我が国や国際社会の問題や課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる生徒の育成」を図ることを目的とする。
- (2) 海外での体験的な学習を通して、学ぶ意欲や関心を喚起する。
- (3) グローバル社会に対応するコミュニケーション能力を育成し、多様な人々と意思疎通、協調した行動を可能にする能力を身につける。

2 日 程

令和7年3月4日（火）～3月7日（金） 4日間

3 募集人数

北海道岩見沢東高等学校 1年生 7名

4 研修場所

台湾 台北市 新竹市 郊外

5 研修のポイント

①「台湾大学生との交流」

日本と台湾は歴史的つながりが深く、金融、先端技術から農産物などさまざまな経済交流のみならず、マンガや娯楽などの文化を通じて台湾の多くの人々が日本に強い関心を寄せ、世界の中でも親日家の多い国です。

このプログラムでは、現地学生と台北を散策し、地元の人達がよく行く屋台でのローカル・フードの紹介など若者同士でのフランクな会話から始まる互いのコミュニケーションによって台湾の現状や話題について深く理解し、日本との差異や日本の課題に気づくことにより、今までとは違った視点で台湾を捉えることを目的としています。台湾人学生も日本人学生と同様にこれまでの自分たちの知っている日本とは違う一面も垣間見ることができるところでしょう。これにより、日台の新しい世代による友好関係を促進するとともに、日台友好・国際交流の輪を広げます。

英語運用能力はもちろん、相手の考えを理解し、自分の考えをしっかりと持ち、伝えることの重要性を認識します。

②「新竹サイエンスパークの視察」

台北から車で南下して約1時間半ほどのところにある「新竹サイエンスパーク」は、台湾初のサイエンスパークで、「台湾のシリコンバレー」と呼ばれているとおり、高品質のハイテク産業の発展期地を創り上げることをモットーにしています。

パーク内には2つの国立理系大学（清華大学、交通大学）、工業技術研究院、主に半導体、情報通信などのエレクトロニクス関連産業の企業500社以上がここで活動をしています。台湾国内の経済発展を牽引するところとして、教育旅行の見学先としても注目されており、経済学や都市発展学者の研究例にもなっています。パーク内の科技生活館にて施設のガイドの案内により科学技術発展を促進する奇跡がご覧頂けます。

地域創生の観点から、異文化理解を回り、協調心、ボランティア精神を育みます。

6 旅行取扱業者

株式会社JTB北海道事業部 教育旅行センター

7 費 用

200,000円（うち30,000円程度を三菱みらい育成財団より補助）

※旅行代金に含まれるもの・含まれないものについての詳細は、説明会でご案内します。

8 滞 在

エンペラーホテル 住所：台湾台北市南京東路1段118号

9 参加申込にあたって

当研修に参加する生徒は、本校のみならず日本を代表する生徒として理解されますので、代表として恥ずかしくない行動・態度が求められます。また学習のみならず、清掃や行事など学校生活にも積極的に取り組む姿勢も求められます。集団行動の決まりを守れることは言うまでもなく、今回の研修を充実、意義あるものにするため、以上のことを理解し、参加を検討してください。（希望者多数の場合、選考を行います。）

令和6年度 北海道岩見沢東高等学校 オーストラリア探究研修 募集要項

1 趣 旨

- (1) スクールミッションでもある「我が国や国際社会の問題や課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる生徒の育成」を図ることを目的とする。
- (2) 海外での体験的な学習を通して、学ぶ意欲や関心を喚起する。
- (3) グローバル社会に対応するコミュニケーション能力を育成し、多様な人々と意思疎通、協調した行動を可能にする能力を身につける。

2 日 程

令和7年3月14日(金) ～ 3月24日(月) 11日間

3 募集人数

北海道岩見沢東高等学校 2年生 10名程度

4 研修場所

オーストラリア アデレード郊外

5 研修のポイント

① 「オーストラリアの同世代生徒との交流」

○現地の高校を訪問しての留学体験。現地校の授業参加、高校生との交流を実施します。生徒交流にとって、英語運用能力はもちろん、相手の考えを理解し、自分の考えをしっかりと持ち、伝えることの重要性を認識します。

② 「生徒2人1家庭滞在のホームステイ」

○オーストラリアの一般家庭に滞在し、英語によるコミュニケーション能力向上と異文化理解を図りながら、協調心、ボランティア精神を育みます。

6 旅行取扱業者

株式会社アイ エス エイ 札幌支店

7 費 用

約600,000円(うち、150,000円程度を三菱みらい育成財団より補助)

※旅行代金に含まれるもの・含まれないものについての詳細は、説明会でご案内致します。

8 滞 在

ホームステイ滞在(本校生徒2人1家庭の予定)※他の留学生が滞在する場合があります。

9 参加申込にあたって

当研修に参加する生徒は、本校のみならず日本を代表する生徒として理解されますので、代表として恥ずかしい行動・態度が求められます。また学習のみならず、清掃や行事など学校生活にも積極的に取り組む姿勢も求められます。集団行動の決まりを守れることは言うまでもなく、今回の研修を充実、意義あるものにするため、以上のことを理解のうえ、参加をご検討ください。(希望者多数の場合、選考を行います)

左：アデレードの街並み



右：現地研修予定校

南オーストラリア州の現地校 ※詳細は未定

GANTO PRIDE 論文作成のしおり

【内容】

本年度の「総合的な探究の時間」→①卒業論文を執筆 ②個人発表 二つの取り組みをすることを目標とします。

【概要】

字数制限：2000字以上4000字以下

※付録や目次・題名などは字数カウントに入れない。

枚数制限：なし

使用ソフト：Googleドキュメント

フォント：日本語→「ヒラギノ明朝Pro」

英語→「Times New Roman」

10.5pt

※データで配布されたテンプレートを使用すること

【テーマについて】

テーマの内容に制限はありません。

自分の進路に関わる内容の方が進めやすい（望ましい）です。

テーマを決めるポイントとしては以下の通りです。

- 自分の進路に関わる分野？
- 自分の興味感心のある分野？
- なるべく追求するポイントを絞る/問題点を具体化する
- 「調べればわかるもの」にしない

「調べる」→「研究・検証・実験する」→「考察する」→「自分なりの結論を出す」
が研究・探究です。

「調べたことを発表する」にとどまらないようにするには、テーマを作り込むことが大切です。

【項目例】

①タイトル

②要約（アブストラクト）

③目次

④序論

⑤本論

⑥結論

⑦参考文献

⑧3年間の探究を振り返って

⑨付録（あれば）

【スケジュール※予定】

時期	内容
2~3月	テーマ決め
春休み	研究計画書の作成※春休み
4~6月	調査・執筆 ※4月の1回目で研究計画書提出
6月〇〇日	中間発表(時間はないので、録画) ※パワポの作成は必要なし
7月最終	論文原稿の提出 ※調査などで時間が欲しい場合には夏休みあけの提出もOK
8月	発表資料の準備
8月最終	発表 一般公開予定※パワーポイントが必要
9月最初	代表者発表



令和6年度 個人探究のタイトル

SNSと現代における美的感覚の変化
地球温暖化と環境破壊を止めるために
ポーカーの必勝法～ゲーム理論から導く勝利の方程式～
学校教育における租税教育について
半導体の仕組み
少子化と小児医療の関係性
なぜ人は恋をするのか
部活動の地域化とは
災害地と戦争地での医療の比較
声援による選手への影響
なぜ大木は無限には大きくならないのか。
自然災害予想
チーム医療の重要性を増やしていくために
紙の本がなくなる理由
薬のメリット・デメリット
緊張した場面で最高のパフォーマンスをするためには
空を飛ぶことについて
理学療法士の将来性
確定申告について
新薬ができるまで
AIは面白さを作れるか
教員の労働環境と労働内容
思考実験と逆説から考えられる移植の現状
不法投棄を減らすために私たちができること
地方と都市の教育格差
幽霊は本当にいるのか
コンビニスイーツ戦略
農業人口の減少・高齢化への対策
アンモナイトはなぜ絶滅したのか
歩くことと健康について
生徒数と学力の関係性
人はなぜ自分と違う考えを否定するのか
医療・看護職の福利厚生について
死後の世界
脱炭素社会に向けて
なぜ現代人は虫が嫌いなのか
消防吏員の現状と課題とその解決策
ドクターヘリとフライトナース
財政の現状と課題
知覚と感覚
気候変動との関わり方
日本における救急医療体制の現状について
地球温暖化とその他の環境問題の関係
男性看護師の必要性について
芸術的価値
ゆとり教育
フィボナッチ数列と黄金比
投資について
日本と欧米の教育の違い
作業療法の需要と求められること
なぜ牛乳を飲んだらお腹が痛くなるのか？
地球温暖化による植生の変化
アナザ食ったらカニバリズムになる

令和6年11月22日
岩 東 総 務 部

2025年度岩見沢市内新設校開校記念特別企画実施要領

- 1 趣旨 2025年度からスタートする岩見沢市内新設校の開校を記念し、岩見沢東高等学校と岩見沢西高等学校が合同で記念事業（講演会）を実施する。
- 2 日時 令和6年11月28日（木）9：00～12：00（出入り含）
- 3 場所 岩見沢市民会館・文化ホール「まなみーる」
- 4 主催 北海道岩見沢東高等学校 共催 北海道岩見沢西高等学校 後援 岩見沢市・岩見沢市教育委員会
- 5 内容 2025年度岩見沢市内新設校開校記念特別企画
「手嶋龍一さんが高校生と明日を語り合う」
＜基調講演＞「未来は君たち連のものだ ―北の大地、自立を目指して―」
＜手嶋さんと高校生によるパネルディスカッション＞
- 6 講師 手嶋 龍一 氏（岩見沢東高等学校第42期卒業生）
【経歴】
慶應義塾大学経済学部卒業。元NHKワシントン支局長。
早稲田大学政治経済学部大学院客員教授、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント学科専任教授を歴任。
- 7 対象 岩見沢東高等学校 全校生徒 岩見沢西高等学校 全校生徒
両校保護者（申込多数の場合は抽選）
- 8 時程 進行：総務部 松本
9:30～ 9:35 渡辺校長より趣旨説明
9:35～ 9:40 岩見沢市長挨拶
9:40～ 9:45 手嶋氏紹介（岩東放送局 2B 仲俣文葉）
9:45～10:15 手嶋氏講演
10:15～11:15 パネルディスカッション（手嶋氏と両校生徒各2名） 司会：岩東78期輪島氏
11:15～11:25 質疑応答
11:25～11:30 伊勢校長より謝辞（岩西生より記念品贈呈）
- 9 役割 ①総括、会場予約・準備、講師連絡調整 岩東総務部
②保護者連絡調整、学校間調整 両校総務部
③生徒座席割 両校各学年主任
④駐輪指導 両校生徒指導部
- 10 当日 生徒現地集合（まなみーる駐輪場指導 生徒指導部 ＊必要に応じて）

		担当
9:00	パネラー生徒、紹介生徒、記念品贈呈生徒打合（場所：楽屋4,5） 入場開始（9:00前には入れません）	務部 松本
	①手嶋氏は岩東校長室で打合せ後移動し、控室へ	総務部 久村
	②3年・西高は1階入口から入場	3学年・西高
	③1・2年は2階に上がり入場	1・2学年
	④保護者は入り口で受付後、3階へ入場	安野、柳井
	⑤その他の関係者は入り口で受付後、1階入口から入場	山崎、工藤
9:20	SHR 出欠確認	HR 担任
9:30	講演開始	
11:30	終了・退場	
	入場したところから退場し、1・2年移動開始 3年下校	
13:10	1・2年 5校時開始	
11	その他 ①必要物品借用先 パソコン（情報桑原）、プロジェクター（会場）、スクリーン（会場） レーザーポインター（進路木村）	
	②記念品、花束準備 松本	
	③記録 写真：山崎 映像：放送局	
	④出張とりまとめ 酒井教頭	
	⑤当日は、教員はストリップ着用（朝打ち時配布）	
	⑥講演会関係生徒	
	・講師紹介 岩東2年仲俣	
	・パネラー 岩東3年野口 岩東2年仁平 岩西2年米沢 岩西2年北村	
	・映像撮影 佐々木 高橋	
	・記念品贈呈 岩東2年仲俣	
	・花束贈呈 岩西2年米沢 岩西2年北村	

